

2022年度 第4回 鋼構造座屈小委員会議事録(案)

1. 日時 2023年3月16日(金)16時00分～18時00分
2. 場所 web会議
3. 出席者 五十嵐規矩夫, 城戸將江, 木村祥裕, 倉田真宏, 小橋知季, 田川浩, 中澤祥二, 松井良太, 金尾伊織(記録) (敬称略)

4. 配付資料

小委員会

- 04-01 2022年度第3回鋼構造座屈小委員会議事録(案)
- 04-02-01 座屈崩壊型鋼構造部材の性能評価WG 議事録(2017-2018年度)まとめ
- 04-02-02 座屈指針の構成-松井20190214

WG

- 04-03-01 国際波及WG | 設置申請ve3
- 04-03-02 Contents for English Edition of AIJ Stability Problems of Steel Structures_20230214”
- 04-03-03 2022_Ch1_Brace_ver1

5. 議事内容

資料04-01

- ・前回の議事録を確認し, 承認された。

資料04-02 座屈設計指針の改定方針について

- ・資料04-02に基づき, 座屈設計指針の改定方針について検討した。
- ・資料04-02-01および04-02-02に基づき, 座屈崩壊型鋼構造部材の性能評価WGの議事録を確認し, WGでの座屈設計指針改定方針について確認した。
- ・1980年の座屈設計指針を理想とし, 「教科書・参考書」, 「諸問題」, 「指針」の3本立てとしていくことで概ね了承された。
「教科書・参考書」: 学生や初学者向け, 指針に記述されていたもので, 指針から移した内容を含む。「教科書・参考書」の内容・書き方に関しては, 今後議論が必要。
「諸問題」: 最新の知見, 指針には載らないが重要な事項
「指針」: 指針に残す内容は, 担当者が主として決定。
- ・改定周期に関しては, 8年はあくまでも目安として, 改定できそうな時に改定作業を進めるのが良いのではないかと。改定ではなく, シンポジウムなどの開催にして, 学会出版物の形をとらなくても良いのではないかと。その方が, 活発に活動ができる。
- ・ラチスシユルの章をどのようにするか, 引き続き検討する。
- ・次回, 1980年版の座屈設計指針のデータ準備, タイムスケジュール案を示す。

資料04-03 WGの方針について

- ・資料04-03-01に基づき, WGの設置申請に関して議論した。
- ・タイトルの修正指摘があり, 「鋼構造物の座屈に関する国際連携」に修正することにした。
- ・単なる英訳ではなく, 国内外の研究交流を活発にし, 国内の取り組みが海外で参照されるための取組であるような内容とする。
- ・学会発刊書籍となることを確認した。

- ・ WGの正式設置は、7月頃になる可能性。
- ・ 資料04-03-02に基づき、執筆項目を確認した。
- ・ 資料04-03-03に基づき、1章の縮小版について倉田委員より説明した。概ね半分まで縮小したことが説明され、この資料を参考に、他章も縮小版を作成することを確認した。

来年度以降について

- ・ 基本オンラインとし、対面委員会を数回予定。
- ・ 方針が固まるまでは小委員会とWGを合同開催とし、その後、個別開催とする。

6. 次回委員会

2023年5～6月を予定